

Green by ICT効果の評価技術

NTTグループでは2016年に環境宣言と、環境目標を公開しました。環境目標では、NTTグループの事業活動に伴うCO₂排出量削減(Green of ICT)と、NTTグループが提供するICTサービスやソリューションの利用による、社会のCO₂排出量削減(Green by ICT)との相对比较目標を定めており、地球環境保護に向けた取り組みを推進しています。

ICTによる社会の環境負荷削減効果(Green by ICT効果)とは、『ICTサービスを利用する場合とそうでない場合とを比較して、相対的に社会全体のCO₂排出量が削減される』効果です。

NTTグループのGreen by ICT目標の達成度合、すなわちNTTグループ全体のGreen by ICT効果を求めるにあたって、NTTグループが提供するすべてのICTサービスを評価し、その効果を積み上げることは稼働的に困難です。そこで、本技術(Green by ICT効果の評価技術)では、サービス分類ごとにあらかじめ集計用原単位を用意することで、決算数値などの公開情報を用いて現実的な稼働でGreen by ICT効果の評価を可能としました。

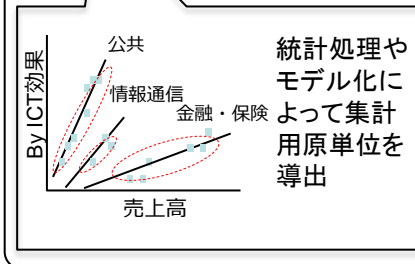
本技術はNTTグループに開発した技術ですが、他企業にも適用が可能です。Green by ICT効果は、環境負荷削減の観点から、企業の社会貢献量を示すため、自社サービスの評価や、CSRの目標設定とその管理などに利用することができます。

●Green by ICT効果の評価技術の利用イメージと特徴

Green by ICT効果評価技術

(企業レベルのGreen by ICT効果)
= (集計用原単位) × (売上など)

簡単に評価ができる



評価に必要な情報

- ・決算データ
- ・公開情報
- ・その他公開情報

既存の公開情報で
評価できる

評価結果

- ・企業目標の達成度管理
- ・CSR報告書などで外部公開

企業の環境貢献度を
社外にアピールできる

●Green by ICT効果

- ・ICTサービスを利活用することにより、利用しない場合に比べて相対的に社会のCO₂排出量が削減されること。

- ・社会貢献量を示すため、自社サービスの評価や、CSRの目標に組み込まれる。
- ・本技術では、企業が提供するサービスのGreen by ICT効果の全体量を推計する。

